
弱×2魔王様

沌弩羅♂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

弱×2魔王様

【Nコード】

N8022X

【作者名】

沌弩羅♂

【あらすじ】

ほのぼの生活主義の魔王のもとに、勇者が攻めてきて…

「…魔王様。何度言ったら、わかるのですか？いつ勇者がきてもいいように、杖と、マントは、常に持っていてくださいとあれほど言ったのに。なんですかその格好は？」

「えっ？大安売りしてたから、こないだ買ってきた新しいTシャツだよ♪」

「真面目に答えなくていいです。私は、なぜ先ほど言った格好をしていないのかを聞いているのです。もし、私が勇者だったらどうするつもりだったんですか？後ろから、『ヴァシャー！！』って切られてしまいますぞっ！！！」

「ごめんごめん。でも、杖とかさうもつと軽くてもいいと思うんだよね。なんか、くつろぎにくいってゆうか、とにかく防犯カメラもあることだし、ダイジョブだと思うよ。」

「はぁ~~~~~……」

ここは、魔王城。

魔王が代々住んできた由緒正しき魔王城である。

しかし、今住んでいる、魔王は少し、いやかなり変わっている。

名前は、《セビウス・デモナレウ》

でも、みんなは、魔王様とか、デモ様とか呼んで、したっている（はず）。

この、魔王様、なんと！魔王としての仕事『世界の支配』や『勇者の討伐』などの仕事を、ことごとくサボっているのだ。

今日も、ホントは座ってはいけけない椅子通称『玉座』に、座らずに、蒲団の上で、テレビを見ながらダラダラしている。

そんな時、突然、けたたましい警報が鳴り響いた！

「魔王様！勇者一行です！！パーティー編成は、勇者【Lv67】
賢者【Lv59】モンスターハンター魔物狩人【Lv62】ですっ！くっ！なんて強さ
だ！魔王様！しかしこれはチャンスですぞ！ここでこの勇者どもを
殺しておけば、人間どもは、だれも逆らえなくなります。さすれば
一気に世界征服ですぞ♪」

……

「えゝめんどくせえゝ、いいじゃん、なんかテキトゝに魔物送って、
倒しといてよ！あ、あいつでいいじゃん、あの俺の幼馴染の、『双ダブル
頭竜』送っというて！」

「それはできません！今、双頭竜さんは、旅行中です。それを邪魔
するのは、いささか気がひけます。ですから魔王様直々に、倒して
もらいたいです。」

「やだ。」

「そんなこと言われましても…あ！もう、この下まで来てますよ！
！！早くこの椅子に…はい、杖を持って！」

「はゝ、あ、来た来た。ごほん…我が名は、『セビウス』。世界を
股に掛けるものだ。そなた達は、ついにここまで来たようだな。誉
めてつかわそう。しかしここで、お前らの旅は終わりだ！なぜなら
この吾輩が、おまえたも！（勇者）『死ねエエエエエ！……！！
！』ぐはっ！だから言ったじゃん！あんま話長いと、相手が、待つ
てくれないって！っか、このカンペ見ながら言ってる時点で、も
うかつこ付かないから！」

かくして、魔王たちは、勇者に倒され、今は、小さな村で細々と暮
らしているのです…

(後書き)

初投稿です。

とても残念な出来ですが、

コメントや、アドバイス等ございましたらお願いします。

また、予定としては、これをもとにした小説を書いていきたいと思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8022x/>

弱×2 魔王様

2011年11月15日09時36分発行